

インターネットプロジェクト
*Global Program*運用手順書
【リソースメンテナンス編】

2000/08/04

改訂版号	更新者	更新日	更新内容
1.00	IBM 石村,加藤	2000/08/04	初版

目次

1.	はじめに	1
2.	システム提供企業を追加する場合	2
2.1.	テーブルの設定	2
2.2.	アプリケーションリソース導入のディレクトリ作成	3
2.3.	ファイルの作成、配置	4
2.3.1.	企業毎の画像ファイル(企業ロゴ、システム名称、背景画像)	4
2.3.2.	ダウンロードリスト・ダウンロードファイルの設定(Japanese Summary・Policy)	4
2.3.3.	他システム遷移先 URL 設定プロパティファイル	5
2.3.4.	Tokio Marine Network HTML ファイル	5
2.3.5.	Miscellaneous HTML ファイル	5
2.3.6.	TMPRESS TOP ページ HTML ファイル	5
2.4.	その他	5
3.	全企業共通インフォメーションファイルを変更する場合	6
4.	企業ロゴ、システム名称、背景画像を変更する場合	6
5.	メインメニュー画面に表示するボタンを変更する場合	6
6.	LINE OF BUSSINESS 画面に掲載するコンテンツを変更する場合	6
7.	CLAIM メニュー画面に表示するボタンを変更する場合	6
8.	クレームアジャスター会社、TMCS、TMMS の URL を変更する場合	6
9.	JAPANESE SUMMARY 画面に掲載するコンテンツを変更する場合	6
10.	TOKIO MARINE NETWORK 画面に表示するコンテンツを変更する場合	7
11.	MISCELLANEOUS 画面に表示するコンテンツを変更する場合	7
12.	データベース接続に関する設定を変更する場合	7
	DBCONN.PROPERTIES	7
13.	エラーコード、エラー画面に関する設定を変更する場合	7
	ERROR_CODE.PROPERTIES	7
	ERROR_JSP.PROPERTIES	8
14.	画面遷移に関する設定を変更する場合	8
	JSP_CTL.PROPERTIES	8
	JSP_URL.PROPERTIES	8
15.	LDAP に関する設定を変更する場合	8
	LDAP.PROPERTIES	8
16.	アプリログ、エラーログに関する設定を変更する場合	9

LOG_APPLICATION.PROPERTIES	9
LOG_ERROR.PROPERTIES.....	9
17. クライアントへのファイルダウンロードに関する設定を変更する場合	9
PL_DOWNLOAD_LIST.PROPERTIES.....	9
18. CLAIM 一覧画面に表示する1ページの明細数を変更する場合	10
PL_LIST_CTL.PROPERTIES	10
19. TRC の課支社コードを変更する場合	10
TRC_SECT_CD.PROPERTIES.....	10
20. サンプル.....	11
20.1. INFORMATION.TXT	11
20.2. DOWNLOAD_LIST.CSV	11
20.3. CLAIM_URL_DRIVE.PROPERTIES	12
20.4. LEAGALINFO.HTML	13
20.5. MISCELLANIOUS.HTML	14

 図表目次

表 1	修正テーブル一覧	2
表 2	修正ファイル一覧	4
表 3	DOWNLOAD_LIST.CSV 設定キー	5
表 4	他システム遷移先 URL 設定	5
表 5	DBCONN	7
表 6	ERROR_CODE	8
表 7	ERROR_JSP	8
表 8	JSP_CTL	8
表 9	JSP_URI	8
表 10	LDAP	8
表 11	LOG_APPLICATION	9
表 12	LOG_ERROR	9
表 13	PL_DOWNLOAD_LIST	10
表 14	PL_LIST_CTL	10
表 15	TRC_SECT_CD	10
図 1	テーブル関係図	2
図 2	作成ディレクトリ(アプリケーション配下)	3
図 3	作成ディレクトリ(ドキュメントルート配下)	3

1. はじめに

本書は東京海上様インターネットプロジェクト、Global Program用に開発されたアプリケーションの運用手順書【リソースメンテナンス編】です。

本書は Global Program アプリケーションにて使用するプロパティファイルや、テーブルなどのアプリケーションリソースのメンテナンス方法を目的別に記述しています。

2. システム提供企業を追加する場合

本システムをご利用頂くユーザー（企業）を追加する場合に必要な作業について説明します。

2.1. テーブルの設定

以下のテーブルに追加するユーザー（企業）のデータを登録する必要があります。

データの登録は、メンテナンス用シェルまたは、SQL 文を作成し、実行して下さい。

メンテナンス用シェルを使った登録方法は、運用手順書【インストール編】を参照して下さい。

本書ではユーザー（企業）“toyota”を登録する場合の SQL 文のサンプルを紹介します。

テーブル名	テーブル名称
TB_GLP_ENTERPRISE_MST	企業コードマスタテーブル
TB_GLP_USER_ENT	ユーザーID・企業コード変換テーブル
TB_GLP_ENT_CONT	契約者コード・企業コード変換テーブル
TB_GLP_CONT_ITEM	契約者コード・種目コード変換テーブル
TB_GLP_MAIN_MENU	ユーザーメインメニューコントロールテーブル
TB_GLP_CLAIM_MENU	Claim メニューコントロールテーブル

表 1 修正テーブル一覧

1. TB_GLP_ENTERPRISE_MST(企業コードマスタテーブル)に、企業コード、企業名称を追加してください。
Ex) insert into tb_glp_enterprise_mst values('toyota','トヨタ','url',sysdate());
2. TB_GLP_USER_ENT(ユーザーID・企業コード変換テーブル)に、ユーザーID、企業コードを追加してください。
Ex) insert into tb_glp_user_ent values('GLP1-12345678','toyota', sysdate());
3. TB_GLP_ENT_CONT(契約者コード・企業コード変換テーブル)に、契約者コード、企業コードを追加してください。
Ex) insert into tb_glp_ent_cont values('1000','toyota', sysdate());
4. TB_GLP_CONT_ITEM(契約者コード・種目コード変換テーブル)に、契約者コード、種目コードを追加してください。
Ex) insert into tb_glp_cont_item values('1000','001', sysdate());
5. TB_GLP_MAIN_MENU(ユーザーメインメニューコントロールテーブル)に、企業コード、メインメニューボタンの表示フラグを追加してください。
Ex) insert into tb_glp_main_menu values('toyota','1','1','1','1', sysdate());
6. TB_GLP_CLAIM_MENU(Claim メニューコントロールテーブル)に、企業コード、Claim メニューボタンの表示フラグを追加してください。
Ex) insert into tb_glp_main_menu values('toyota','1','1','1','1', sysdate());

※入力可能な値等については、外部仕様書を参照して下さい。

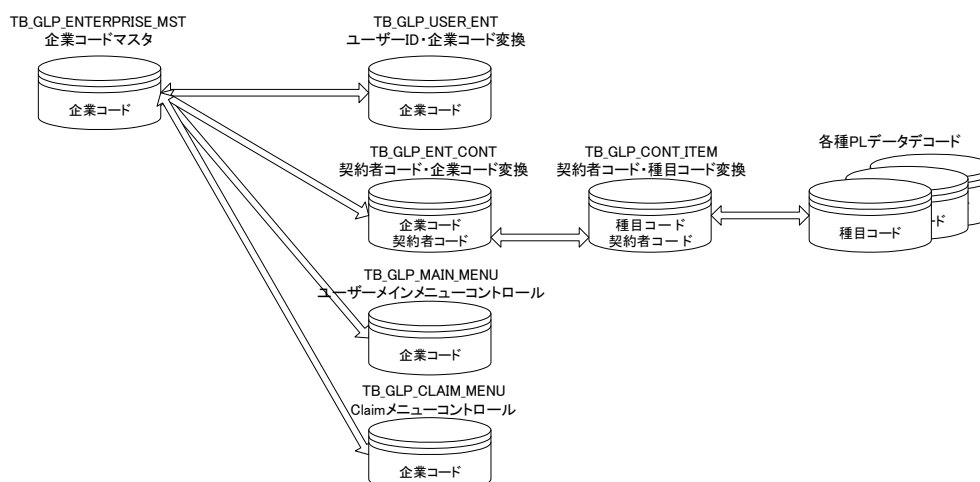


図 1 テーブル関係図

2.2. アプリケーションリソース導入のディレクトリ作成

ユーザー(企業)に提供するコンテンツや、画面に表示するロゴマーク等の画像データを格納するディレクトリを Global Program アプリケーション導入サーバー(以下、GP サーバー)に作成します。

太字の部分のディレクトリを作成して、属性値を変更してください。

下図は、ユーザー(企業)“toyota”を追加した場合です。

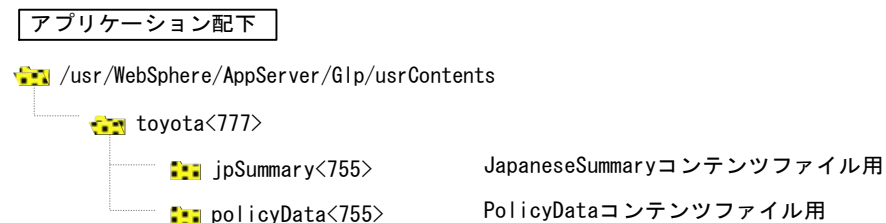


図 2 作成ディレクトリ(アプリケーション配下)

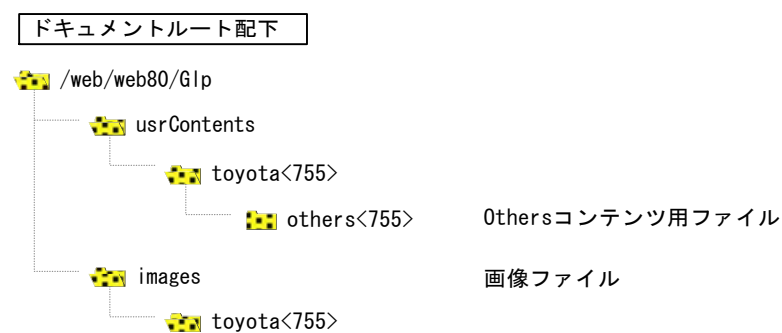


図 3 作成ディレクトリ(ドキュメントルート配下)

2.3. ファイルの作成、配置

前項で作成したディレクトリに提供するコンテンツや、画面に表示するロゴマーク等の画像データを配置します。

下表は、ユーザー（企業）”toyota”を追加した場合です。

コンテンツ名称	形式	メンテナンス方法
		用途
		ディレクトリ/テーブル名
企業ロゴ	GIF	FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		画面ヘッダー部に表示する企業別ロゴマーク
		/web/web80/Glp/images/toyota/custlogo.gif
システム名称	GIF	FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		画面ヘッダー部に表示する企業別システム名称
		/web/web80/Glp/images/toyota/custtitle.gif
背景画像	JPG	FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		メインメニューの背景画像
		/web/web80/Glp/images/toyota/back.jpg
ダウンロードリストファイル	CSV	修正は任意のエディターで行い、FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		Line Of Bussine 画面、Japanese Summary 画面に表示内容（ファイル名称）の顧客別コントロールおよび、ファイル名称と実ファイル名の紐付け
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/download_list.csv
Policy Data ダウンロードファイル	XSL,DOC,PDF	FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		Line Of Bussiness 画面より実際にクライアントにダウンロードされるファイル
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/policyData/任意ファイル名.拡張子
Japanese Summary ダウンロードファイル	XSL,DOC,PDF	FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		Japanese Summary 画面より実際にクライアントにダウンロードされるファイル
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/jpSummary/任意ファイル名.拡張子
他システム遷移先 URL 設定プロパティファイル	PROPERTIES	修正は任意のエディターで行い、FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		本システムより海外アジャスター、TMCS、TMMS システム遷移先 URL の顧客別コントロール
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/properties/claim_url_drive.properties
Tokio Marine Network HTML ファイル	HTML	修正は任意のエディターで行い、FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		Tokio Marine Network として表示する HTML
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/leagalInfo.html
Miscellaneous HTML ファイル	HTML	修正は任意のエディターで行い、FTP で所定のディレクトリにアップロードする
		Miscellaneous として表示する
		/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/misellaneous.html
TMPRESS TOP ページ HTML ファイル	HTML	ユーザー（企業）が発生の都度、TRC 社にてメンテナンスする
		本システムより TMPRESS へ遷移する際のリンク先となる HTML

表 2 修正ファイル一覧

2.3.1. 企業毎の画像ファイル（企業ロゴ、システム名称、背景画像）

/web/web80/Glp/images/toyota の下に

- 企業ロゴ (custlogo.gif)
- システム名称 (custtitle.gif)
- メインメニュー背景 (back.jpg)

を作成、配置し、ファイルの属性値を755に設定してください。

※ファイル名は、全ユーザー（企業）共通です。変更は出来ません。（“toyota_custologo.gif”などは無効です）

2.3.2. ダウンロードリスト・ダウンロードファイルの設定（Japanese Summary・Policy）

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota の下に、download_list.csv ファイルを作成してください。

download_list.csv ファイルは、キー、ファイル名、表示文字列をカンマ区切りで一行として作成してください。

作成、配置したファイルの属性値を755に設定してください。

（11p 20.2 download_list.csv参照）

キー	説明
Property	PolicyData の Line of Business の Property に表示する項目
Liability	PolicyData の Line of Business の Liability に表示する項目
additional	PolicyData の Line of Business の加入状況一覧に表示する項目
jpsummary	Claim の Japanese Summary に表示する項目

表 3 download_list.csv 設定キー

2.3.3. 他システム遷移先 URL 設定プロパティファイル

/usr/WebSphere/AppServler/Glp/properties の下に、claim_url_drive.properties ファイルを作成してください。

claim_url_drive.properties ファイルは、企業共通の TMCS、TMMS システムへの遷移先 URL、企業毎の海外アジャスターシステムへの遷移先 URL を設定してください。

作成、配置したファイルの属性値を755に設定してください。

(12p 20.3 claim_url_drive.properties参照)

キー	説明
TMCS_URL	企業共通の TMCS システム遷移先 URL
TMMS_URL	企業共通の TMMS システム遷移先 URL
toyota_URL [企業コード_URL]	企業毎の海外アジャスターシステム遷移先 URL

表 4 他システム遷移先 URL 設定

2.3.4. Tokio Marine Network HTML ファイル

/web/web80/Glp/usrContents/toyota/others の下に、leagalInfo.html ファイルを作成してください。

作成、配置したファイルの属性値を755に設定してください。

(13p 20.4 leagalInfo.html参照)

2.3.5. Miscellaneous HTML ファイル

/web/web80/Glp/usrContents/toyota/others の下に、misellanium.html ファイルを作成してください。

作成したファイルの属性値を755に設定してください。

(14p 20.5 misellanium.html参照)

2.3.6. TMPRESS TOP ページ HTML ファイル

本システムより、TMPRESS へ遷移する際に最初に表示される HTML を TRC 社に用意して頂く必要があります。

TRC 社には、企業コードマスターに登録した企業コード(“toyota”等)を連絡して下さい。

2.4. その他

プロパティファイルは、システムが読み込めるようにするために、プロパティファイルを一まとめにして JAR 形式のファイルにして置く必要があります。

JAR ファイルの作成は、作成するファイルのあるディレクトリに移動して、

```
jar -cvf glp.jar *.properties
```

と、タイプして作成してください。

参考)

```
jar -tvf glp.jar : 一覧表示
```

```
jar -xvf glp.jar : jar ファイルの解凍
```

3. 全企業共通インフォメーションファイルを変更する場合

/web/web80/Glp/information.txt を変更して下さい。

4. 企業ロゴ、システム名称、背景画像を変更する場合

/web/web80/Glp/images/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)の下にある

- 企業ロゴ(custlogo.gif)
- システム名称(custtitle.gif)
- メインメニュー背景(back.jpg)

を変更したいファイルに置き換えて下さい。ファイルの属性値は755に設定してください。

※ファイル名は、全ユーザー(企業)共通です。変更は出来ません。("toyota_custlogo.gif"などは無効です)

5. メインメニュー画面に表示するボタンを変更する場合

ユーザーメインメニューコントロールテーブル(TB_GLP_MAIN_MENU)のメニューボタン1、2、3、4の値を更新します。

6. Line Of Bussiness 画面に掲載するコンテンツを変更する場合

・ ダウンロードリストファイルの変更

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)の下にある
download_list.csv ファイルを変更してください。

download_list.csv ファイルは、キー、ファイル名、表示文字列をカンマ区切りで一行として作成してください。

変更、配置したファイルの属性値を755に設定してください。

(11p 20.2 download_list.csv参照)

・ コンテンツファイルのアップロード

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)/policyData/の下
に掲載したい Excel ファイル(.xls)、Word 文章(.doc)、PDF ファイル(.pdf)を配置して下さい。

ファイル名は任意です。但し、使用する文字は、半角英数字のみとして下さい。

7. Claim メニュー画面に表示するボタンを変更する場合

Claim メニューコントロールテーブル(TB_GLP_CLAIM_MENU)のメニューボタン1～8の値を更新します。

8. クレームアジャスター会社、TMCS、TMMS の URL を変更する場合

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/properties の下にある claim_url_drive.properties ファイルを変更して下さい。

作成したファイルの属性値を755に設定してください。

(12p 20.3 claim_url_drive.properties参照)

9. Japanese Summary 画面に掲載するコンテンツを変更する場合

・ ダウンロードリストファイルの変更

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)の下にある
download_list.csv ファイルを変更してください。

download_list.csv ファイルは、キー、ファイル名、表示文字列をカンマ区切りで一行として作成してください。

変更、配置したファイルの属性値を755に設定してください。

(11p 20.2 download_list.csv参照)

コンテンツファイルのアップロード

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)/jpSummary/の下に掲載したい Excel ファイル(.xls)、Word 文章(.doc)、PDF ファイル(.pdf)を配置して下さい。

ファイル名は任意です。但し、使用する文字は、半角英数字のみとして下さい。

10. Tokio Marine Network 画面に表示するコンテンツを変更する場合

/web/web80/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)/others の下に、leagalInfo.html ファイルを作成してください。

作成したファイルの属性値を755に設定してください。

(13p 20.4 leagalInfo.html参照)

11. Miscellaneous 画面に表示するコンテンツを変更する場合

/web/web80/Glp/usrContents/企業コード(企業コードマスターテーブルに登録されている)/others の下に、misellanium.html ファイルを作成してください。

作成したファイルの属性値を755に設定してください。

(14p 20.5 misellanium.html参照)

12. データベース接続に関する設定を変更する場合

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/properties/dbconn.properties を変更して下さい。

dbconn.properties

注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
Poolname	セッションプールの名前	JdbcOracle
Driver	Oracle への接続ドライバ	oracle.jdbc.driver.OracleDriver
url	データベースサーバーURL	oracle:thin:@1.250.1.55:1521tora45
User	データベース接続 Oracle ユーザー名	GBLPR01
Password	データベース接続 Oracle ユーザーパスワード	GBLPR01

表 5 dbconn

13. エラーコード、エラー画面に関する設定を変更する場合

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/properties/err_code.properties と

/usr/WebSphere/AppServer/Glp/properties/err_jsp.properties を変更して下さい。

error_code.properties

用途	エラーコードを設定します	
注意事項	メッセージ、レベル、エラー画面 ID の3つで一つの組となります コード体系は、1,2,3 桁='GLP'(固定)、4,5 桁=分類、1,2,3 桁=連番です	
設定キー	説明	サンプル値
GLP00001_MSG [GLPxxxxx_MSG]	エラーメッセージ	コネクションの取得に失敗しました
GLP00001_LVL [GLPxxxxx_LVL]	エラーレベル 設定値: ・ E(エラー) ・ W(警告) ・ I(情報)	E
GLP00001_ERRJSP [GLPxxxxx_ERRJSP]	エラー表示 JSP 設定値: ・ ERR01 ・ ERR02 ・ ERR03	ERR03

表 6 error_code

error_jsp.properties

用途	エラー画面 JSP の URL を設定します	
注意事項	エラー画面を追加する場合は、エラー画面 HTML の URL を記述して下さい コード体系は、1,2,3 桁=ERR'(固定)、4,5 桁=連番です	
設定キー	説明	サンプル値
ERR01_URL [ERRxx_URL]	エラー画面 JSP の URL (セッションエラー画面)	../Glp/GlpError01.html
ERR02_URL [ERRxx_URL]	エラー画面 JSP の URL (リファラーエラー画面)	../Glp/GlpError02.html
ERR03_URL [ERRxx_URL]	エラー画面 JSP の URL (システムエラー画面)	../Glp/GlpError03.html

表 7 error_jsp

14. 画面遷移に関する設定を変更する場合**jsp_ctl.properties**

用途	画面遷移情報の保持に使用します	
注意事項	形式は、Response 画面 ID _ Request 画面 ID = Request 画面 ID です	
設定キー	説明	サンプル値
MENU03_MENU02 [xxxxxx_xxxxxx]	画面遷移情報	MENU02

表 8 jsp_ctl

jsp_uri.properties

用途	JSP の URI と JSP を出力する Servlet の URL 保持に使用します	
注意事項	形式は、画面 ID _ URI と、画面 ID _ REQURL です	
設定キー	説明	サンプル値
MENU00_URI [xxxxxx_URL]	JSP の URI	/Glp/GlpMenu00.jsp
MENU00_REQURL [xxxxxx_REQURL]	JSP を出力する Servlet の URL	../servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet

表 9 jsp_uri

15. LDAP に関する設定を変更する場合**ldap.properties**

用途		
注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
LdapDir	Ldap のサフィックスを指定	o=TOKIOMARINE,c=JP
LdapHostName	LDAPのホスト名/IPアドレスを指定	ldap://1.250.1.3:389
AuthAdminDN	LDAP管理者のDNを指定	cn=GPL1RefAdmin,o=TOKIOMARINE,c=JP
AuthAdminPswd	LDAP管理者のパスワードを指定	GPL1RefAdmin

表 10 ldap

16. アプリログ、エラーログに関する設定を変更する場合

log_application.properties

用途	アプリログ属性の保持に使用します	
注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
interval	出力間隔	10000
filename	アプリログ・ファイル名	/usr/WebSphere/AppServer/Glp/logs/GlpApl.log
rollover	ロールオーバー・サイズ	1000000
buffer	バッファ	8192
encoding	エンコード	Cp943
crlf	改行コード	¥n

表 11 log_application

log_error.properties

用途	エラーログ属性の保持に使用します	
注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
interval	出力間隔	10000
filename	アプリログ・ファイル名	/usr/WebSphere/AppServer/Glp/logs/GlpErr.log
rollover	ロールオーバー・サイズ	1000000
buffer	バッファ	8192
encoding	エンコード	Cp943
crlf	改行コード	¥n

表 12 log_error

17. クライアントへのファイルダウンロードに関する設定を変更する場合

pl_download_list.properties

用途	ファイルダウンロードの設定に使用します	
注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
S_BASE_PATH	コピー元のディレクトリ	/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/
S_LIST_FILENAME	ダウンロード一覧 CSV ファイル	/download_list.csv
S_TMP_PATH	サーバー一時ディレクトリ	/web/web80/Glp/DL/
C_BASE_PATH	クライアントダウンロードディレクトリ	c:¥¥GBLP¥¥¥
C_PATH_POLICY	クライアントダウンロードディレクトリ POLICY	policy
C_PATH_EXCEL	クライアントダウンロードディレクトリ EXCEL	excel
C_PATH_GRAPH	クライアントダウンロードディレクトリ Graph・Summary	graph
C_PATH_JPNS	クライアントダウンロードディレクトリ JpSummary	jpns
CSV1_FILENAME	CSV1 ファイル作成ファイル名(データフ ァイル)	gblp_graph.csv
CSV2_FILENAME	CSV2 ファイル作成ファイル名(検索条 件)	gblp_select.csv
BASE_EXCEL_FILENAME	Excel マクロファイル名	gblp_graph.xla
BASE_ALLENTY_FILENAME	AllEntry マクロファイル名	gblp_AllEntry.xla
BASE_VBS_FILENAME	テンプレート VB スクリプトファイル名	gblp_startup.vbs
SERVER_TOKEN	サーバーディレクトリトークン	/

PREV_SERVER	アプレットがレスポンスを返すサーバー (社内ユーザー)	https://www11.tokiomarine.co.jp/www16
PREV_SERVER_CUST	アプレットがレスポンスを返すサーバー (社外ユーザー)	https://www8.tokiomarine.co.jp/www16
ACS_SERVER	パラメータ取得時にアクセスするサーバー (社内ユーザー)	https://www11.tokiomarine.co.jp
ACS_SERVER_CUST	パラメータ取得時にアクセスするサーバー (社外ユーザー)	https://www8.tokiomarine.co.jp

表 13 pl_download_list

18. Claim 一覧画面に表示する1ページの明細数を変更する場合

pl_list_ctl.properties

用途	roduct Liability 検索一覧表示に使用します	
注意事項		
設定キー	説明	サンプル値
MAX_LIST	一覧表示の表示行数	9

表 14 pl_list_ctl

19. TRC の課支社コードを変更する場合

trc_sect_cd.properties

用途	TRC 課支社コードの判定に使用します	
注意事項	TRC 課支社コードを設定キーとして登録して下さい	
設定キー	説明	サンプル値
ZAAK	課支社コード・ZAAK	
ZAHB	課支社コード・ZAHB	
ZADK	課支社コード・ZADK	

表 15 trc_sect_cd

20. サンプル

20.1. information.txt

ご利用頂きありがとうございます。

今月のシステムメンテナンスによる停止日時は、8月5日 20時から21時です。

ご迷惑をお掛けしますが、ご了承ください。

20.2. download_list.csv

property,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/policyData/keiyaku1.xls,契約状況一覧1 ↓

liability,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/policyData/ keiyaku2.xls,契約状況一覧2 ↓

additional,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/policyData/ keiyaku3.xls,契約状況一覧3

jpsummary,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/jpSummary/Property.xls,Property Summary ↓

jpsummary,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/jpSummary/Liability.xls,Liability Summary ↓

jpsummary,/usr/WebSphere/AppServer/Glp/usrContents/toyota/jpSummary/Marine.xls,Marine Summary ↓

20.3. claim_url_drive.properties

```
#-----#  
# claim から他システムへの遷移先設定用 #  
# プロパティファイル #  
#-----#  
  
# 用途: Claim の  
#       ・TMCS  
#       ・TMMS  
#       ・海外アジャスターシステム  
#       への遷移先 URL を設定します  
#  
# 注意事項:  
#  
  
# TMCS  
#  
TMCS_URL=http://www.yahoo.co.jp  
  
# TMMS  
#  
TMMS_URL=http://www.infoseek.ne.jp  
  
# 海外アジャスターシステム  
#  
toyota_URL=http://www.toyota.co.jp
```

20.4. leagallInfo.html

```
<HTML>
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <TITLE>グローバルプログラム</TITLE>
</HEAD>

<BODY bgcolor="#FFFFFF" background="../images/back_pol_r.gif" leftmargin="0" topmargin="0" marginwidth="0"
marginheight="0">
  <TABLE width="570" border="0" cellspacing="0" cellpadding="0">
    <TR width="570" height="40" valign="top">
      <TD height="40">
      </TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD height="120">
        <UL>
          Tokyo Marine Network サンプル HTML です。<BR>
        </UL>
      </TD>
    </TR>
  </TABLE>
</BODY>
</HTML>
```

20.5. misellaneous.html

```
<HTML>
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <TITLE>グローバルプログラム</TITLE>
</HEAD>

<BODY bgcolor="#FFFFFF" background="../../images/back_pol_r.gif" leftmargin="0" topmargin="0" marginwidth="0"
marginheight="0">
  <TABLE width="570" border="0" cellspacing="0" cellpadding="0">
    <TR width="570" height="40" valign="top">
      <TD height="40">
        </TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD height="120">
        <UL>
          misellaneous サンプル HTML です。<BR>
        </UL>
      </TD>
    </TR>
  </TABLE>
</BODY>
</HTML>
```